

海外実習レポート

学籍番号：1073601m (115)

実習期間：2016/4/4～4/29

シンガポールでの一ヶ月の実習が終わりましたので報告させていただきます。神戸大学医学部では6年次の個別計画実習において、海外の病院を実習先として選択することも可能です。6回生としての1年間は、研修を見据えた実習やマッチング、大学の卒業試験や医師国家試験もあり1日1日が大事ですが、海外の病院の病院で診療・治療行為を見学できるチャンスはさらに貴重だと考え、シンガポールの病院で実習させていただくことにしました。数ある海外の病院の中でシンガポールのそれを選択したのは、シンガポールでの医療は日本と同様”先進的”であると耳にしたこと、公用語として英語の普及率が高いこと（非英語圏での実習は医療そのものよりも言葉の理解に比重が置かれると考えました）、シンガポール自体をまだ訪れたことがなく行ってみたいと思ったこと、などが理由です。

シンガポールでの実習は2016/4/4から4/29までの4週間で、初めに麻酔科で2週間、続いて2週間が小児外科の構成でした。神戸大学からの実習生の中にはSingapore General Hospitalで実習を行う者もいましたが、私自身はNational University Hospital (以下、NUH)で実習を行いました。NUHは病床1,000以上、主要オペ室群3つを擁する規模の大きな病院で、私の実習中には日本（神戸大学の他に大阪医科大学）、オーストラリア、イギリス、台湾からの留学生（いずれも各大学の最終学年）を見かけました。（写真はNational University of Singaporeのmedical schoolであるYong Loo Lin School of Medicineのエントランスで撮った写真）。



医療スタッフはシンガポール、マレーシア出身者が多いですが、インドネシア、インド、中国系の人間も多く、スタッフ間、スタッフ-患者間のコミュニケーションは英語、中国語（mandarin, taiwanise, hokkenn, kantaneseなど）、マレー語が使われておりシンガポールの文化の多様性を反映しているのが見てとれました。スタッフは大方が2ヶ国語を話せますが、患者との疎通の取れる言語を話せる者が間に入って診療・治療行為を円滑に回している様は、日本人の私にとっては非常に印象深いものでした。

前半の2週間の麻酔科実習ではオペ見学を中心に、SICU (surgical intensive care unit)、ペインクリニックの見学を行いました。見学させていただいた手術は全身麻酔下での皮下腫瘍生検といったものから心臓血管系の冠動脈バイパス手術など多岐にわたるものでした。多くは見学(observation)でしたが、教育熱心な先生の指導の下、4症例で麻酔導入時の挿管を、1例で静脈ルートをとるといった手技も学ばせていただきました。オペ見学では、麻酔科の先生方と話せる時間も多く、医学に留まらず様々なことを話すことができました。



後半の2週間では小児外科の手術を多数見学させていただきましたが、ハイライトとしては肝移植の手術で肝切除したのちに提供された肝臓を移植する様な長時間に及ぶオペでは

外科チームとしての能力の高さが問われると感じました。私自身も貴重な経験だと思います、食いついて見てましたが夜もふける頃にはフラフラで、手術後も morning round に参加される先生方の

体力には驚かされました。また、3例の腹腔鏡科の虫垂切除術で自身も手洗いに入らせていただき、貴重な経験となりました。(写真は小児外科のスタッフと虫垂切除後にオペ室にて)。



シンガポールでの生活は現地の医師や医学生、他国からの留学生や優しい寮母さんのおかげで実習のみならずプライベートの時間も充実しました。シンガポールの方々は親日的な方も多く、オペ室や回診前後に話しかけてきてはお互いの国の話や料理、観光スポットなどの話題で盛り上がることができました。シンガポールは国としての歴史も浅く(昨年建国50周年)、歴史的・地理的な特性からか、人種も言語も、料理などの文化も全てがごちゃ混ぜです。

生粋の日本人の私には、「違うことが当たり前」であることが新鮮で、また他言語(日本語以外の言語)の習得が海外においては自らの世界を広げるものだと実感しました。今回の

海外実習でシンガポールやその他の国の医学部生とも交流することができました。今後、彼らは良きライバルであり、友人となると思います。卒業後、再会した時に胸を張れるようこれからも勉学に励んでいきたいと思っています。(写真は寮母さんと近くのタイ料理屋にて)

最後になりますが、海外実習に当たってお世話してくださった方、関係した方々に厚く御礼を申し上げます。